別紙

ＩＣＴ活用工事（舗装工（修繕工））計画書

当該工事において、施工プロセスの各段階および作業内容において、

ＩＣＴを活用する場合は、左端 のチェック欄に「レ」と記入する。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する  技術番号  （参考） | 技術番号・技術名 |
| □ | ①３次元起工測量 |  | |  | 1 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  ２　TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  ３　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ４ その他の３次元計測技術を用いた起工測量（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ※採用する具体の技術は受注後の協議により決定する。  ※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。 |
| □ | ②３次元設計データ作成 |  | | | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成であり、ＩＣＴ建設機械にのみ用いる３次元設計データは含まない。 |
| □ | ③ＩＣＴ建設機械による  施工 | □ | 路面切削工 |  | １　３次元位置を用いた施工管理システムを搭載した建設機械 |
| □ | ④３次元出来形管理等  の施工管理 |  | |  | １　施工履歴データを用いた出来形管理 |
| □ | ⑤３次元データの納品 |  | | | |

注 1) ＩＣＴ活用工事（舗装工（修繕工））の詳細については、ＩＣＴ活用工事（舗装工（修繕工））特記仕様書によるものとする。

注 2) 具体的な工事内容及び対象舗装範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。

注 3)施工管理システムを搭載した建設機械とは、施工中の路面切削機の作業装置位置及び切削深さ（高さ）をリアルタイムに計測・記録する機能を有する建設機械をいう。